

第73回入学式

4月7日土曜日、八女高73回生の新入生240名が入学しました。入学許可の呼名の場面では、大きな声で返事をし、これから3年間本校で学び、自己の夢を実現する決意を表してくれました。部活や教科学習、学校行事や委員会活動などすべてに積極的にに関わり、自己を成長させてほしいと思います。



新入生宣誓
そめやひびき
染矢陽日葵 (筑後中出身)



新入生入場。緊張の表情



HRの様子



HRの様子



学校応援団激励

八女高だより

「自立と協働を学ぶ体験活動」 4月13日(金)～15日(日)

熊本県阿蘇市の国立阿蘇青少年交流の家にて、1学年の生徒を対象に行われました。「共同生活を通して、友と切磋琢磨し、自分自身を高める努力をすること」、「友と協働し、苦勞を乗り越え問題解決することで、仲間の大切さを体験すること」、また、「様々な活動を通して、集団の中の自分の役割と責任を自覚すること」を目的としています。この研修を通して、新入生が八女高生のあるべき姿に大きく一歩近づきました。



団長講話 (校長先生より)



家族からの手紙に返事を書きました

絆を深める大縄跳び



キャンドルのつどい



雨天のためレクリエーションに

平成30年度
第1号(5月21日発行)
福岡県立八女高等学校
校長 別府 尚樹
編集 企画広報課



【本号の内容】
祝73回生入学
1学年体験活動
新入生歓迎行事
OB紹介

今回の阿蘇研修が不安で仕方ありませんでした。積極性がない、会話が続かない、人の目を見て話せないなど、皆と集団で行動する中で、なくてはならないコミュニケーション能力が私には足りないと思っていたからです。しかし今回の研修は、学年単位、クラス単位、生活班単位でたくさんの協力が必要となるものでした。

まずは「集団行動」。心を一つに声を出し、動きを揃えました。次に「ドッジボール大会」。クラス別の勝負で、作戦会議を立てたり、声を掛け合ったりしました。「大縄跳び大会」では、男子も一緒になって、自分の考えを相手にぶつけ合って戦略を練り、何とか跳ぶことができました。そして、「キャンドルの集い」第二部のレクリエーションでは、他クラスとの交流もあり、時間が経つにつれて最初の緊張がほぐれ、会話が増え、色々な人と楽しい活動ができました。

この研修で、私は多くのことを得ました。明るく楽しい同級生との交流、人と心を合わせることの大変さ、私にかけていること、家族にどれだけ大切にされているか、阿蘇の大自然の美しさと怖さ、そして、周りの方々に褒めていただいた挨拶の意味。このようなことを大切に、これからさらに深く学び、進歩していきたいと思います。

1年1組 嶋美乃璃 (黒木中出身)

「新入生歓迎行事」 4月17日(火)

地元筑後に拠点を置くホークスファームの試合(VS 中日ドラゴンズ)を全校で観戦しました。天候に恵まれず、本校吹奏楽部は楽器をタオルなどで覆いながらも懸命に応援歌を演奏しました。スタンドの生徒達は演奏に合わせて大きな声を出し、心を一つにして熱い声援を送りました。



吹奏楽部の演奏で活気づく応援



ラッキーセブンで、心を一つに



本校ダンス部によるチア

第18回ダンス部定期公演 4月29日(日)九州大谷短期大学講堂

嬉しいことに1年生の部員を迎え、少人数ながらも大きく元気な演舞と笑顔で観客を魅了しました。今年度もOGのサポートがあり、一つにまとまって「風神火山」や「This is me!」などを披露し、複雑な構成とこまやかな演技で様々な感情を表現し、見る者の心を動かしました。



「百輪の華」

豊かな自然の恵みと感謝の心を表現



新入部員を含めたラインダンス



リフトも息をあわせて完璧!

創部60周年記念 第38回定期演奏会 5月5日(土)サザンクス筑後

吹奏楽部は、本年度創部60周年を迎えました。定期演奏会では、吹奏楽部創立に関わりのある年代にタイムスリップし、当時の音楽を奏でるといふ風に趣向を凝らしました。また、ウィンドアンサンブル CHIKUGO と共演しました。



創部60周年記念 第38回定期演奏会



OB 紹介

野田秀作氏 (高52回生)
東山中学校出身



<プロフィール>

2011年 九州大学博士(工学)課程
修了

2011年 日本原子研究開発機構

2014年 V.I.C.(株)

2015年 JFE エンジニアリング(株)

日本原子力研究開発機構、V.I.C.(株)を経て、今はJFE エンジニアリング(株)にて、主に放射線に関連した業務を行なっています。ここでは放射線関連の専門知識などを使い、どうやったら企業利益向上ができるかを考えるのが仕事で、具体的には自分がいいと思ったアイデアについて社内説明用にパワーポイントを使ってプレゼンテーション資料を作っています。現在勤めている会社はその社名の通り、エンジニアリング会社です。会社の事業に放射線関連の付加価値を加えることができないか、いつも考えています。

九大へ入った当初はつまらなく思いながら大学に通っていましたが、大学の研究室配属で研究ってちょっと楽しいかもと思い、海外での実験をするような研究室を選びました。その後、運良く留学のような形で、米国ロスアラモス国立研究所やアルゴンヌ研究所に中長期間1人で滞在し、原子核に関する研究を行っていました。高校生のときは、海外で物理の実験をするなんて夢にも思いませんでしたが、人生いろいろです。自分にもこんなことができるかもしれないと胸いっぱい夢を膨らませたことがこの時期の原動力だった気がします。

これからの人生、成り行きに任せる時も、流れに抗う時もあると思いますが自分の責任で遅く生きてください。